

禁煙科学

Vol. 16(10), 2022. 10



今月号の目次

【報告】

- 第17回 日本禁煙科学会 学術総会 in 札幌 1
(2022年10月15日-16日 WEB開催)
開催概要
学術総会会長挨拶
学会賞
禁煙教育推進賞(畑中孝之賞)

【連載】

- 禁煙科学 最近のエビデンス (2022年10月 KKE317)
KKE317「疼痛患者の禁煙に関する合意声明：日本ペインクリニック学会」
舘野 博喜 7

【連載】

- 週刊タバコの正体 (2022年10月 No. 720-723)
奥田 恭久 14

【報告】

第17回 日本禁煙科学会 学術総会 i n 札幌

【開催概要】

◆テーマ

きれいな空気を未来につなげる

◆開催日

開催日：2022年10月15日（土）・16日（日）

◆開催方法

WEB開催

◆会長

今野 美紀（札幌医科大学保健医療学部看護学科 教授）

◆主催

日本禁煙科学会

◆主たるプログラム

会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、分科会、一般演題

【URL】

◆第17回 日本禁煙科学会 学術総会のページ

https://www.jascs.jp/scientific_conference/conf_index.php#area_17

◆第17回 日本禁煙科学会 学術総会 プログラム・抄録集

「禁煙科学」Vol. 16(13), 2022. 10

※「禁煙科学2022」のページからダウンロードして下さい。

https://www.jascs.jp/kinen_kagaku/kinen_kagaku_2022.html

【学術総会会長挨拶】



第17回日本禁煙科学会学術総会 in札幌 会長

今 野 美 紀 札幌医科大学保健医療学部看護学科 教授

第17回日本禁煙科学会学術総会 in 札幌の運営を仰せつかり、2022年10月15日、16日に開催させていただきます。爽やかな秋の札幌に皆様をお迎えすることが適わず残念に思いますが、今回、新型コロナウイルス感染流行が収まらない為、完全WEB形式での運営にさせていただきます。

今回のテーマは「きれいな空気を未来につなげる」といたしました。私は、所属先の札幌医科大学で小児看護学を担当し、地域の小・中学校で喫煙防止授業に携わる機会を得ております。国民全体の喫煙率が下がりつつも、タバコの問題は予防から治療まで多くの課題を含み、様々な職種の方と連携し、子どもたちを含め、人々がタバコに曝されることがなく、清々しい環境の中で暮らせるよう英知を重ねることが大切であると考えております。先生方のそれぞれの分野で取り組まれている禁煙のエビデンスを持ち寄り、議論し、未来につなげる、そのような機会になればと思います。

新型コロナウイルスとの共存の日々で、皆様におかれましてもご多忙で不自由な日常生活を過ごされてきたものと察します。感染罹患や移動の時間が気にならないWEB開催の利点を生かし、実りある学術集会になるよう運営させていただきます。また、ご参加いただいた皆様にお楽しみ頂ける企画も計画中ですので、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

【学 会 賞】



第17回日本禁煙科学会学術総会 in 札幌 学会賞受賞者

岩 城 紀 男 NPO法人禁煙ねット石川 名誉理事長／岩城内科医院

受賞理由：

石川県のみならず日本の禁煙界をリードし、2001年には第1回禁煙フォーラム石川を開催し、以後石川県臨床内科医会会長、日本臨床内科医会常任理事として積極的に禁煙推進の発信を続けた。さらに2009年には禁煙ねット石川を立ち上げ、その活動を通じて受動喫煙防止や子どもたちの喫煙防止教育、禁煙支援者の育成など、多方面に大きく貢献した。

【略歴】

生年月日 1940年 7 月20日

学歴 1965年 金沢大学医学部卒業

1970年 同大学院第 2 内科博士課程修了

職歴 1971年 石川県立中央病院勤務

1976年 岩城内科医院開業

役員 1978年～1992年 金沢市医師会代議員、監事、理事、国保連合会審査委員、支払基金審査委員

1998年 石川県臨床内科医会会長

1999年 日本臨床内科医会常任理事（インフルエンザ研究班、禁煙部会結成）

学会 日本禁煙科学会、日本内科学会、日本老年病医学会、日本感染症学会

論文 2005年 Clinical Infectious Diseases (CID) 誌採用論文 3 本（共著）

2006年 インフルエンザ診療マニュアル発行（～2022年16版合計165.8万部）

2007年 インフルエンザ抗原迅速診断用鼻かみ鼻汁検体の診断学的有用性の確立 臨床と研究84： 1298-1302。2007

国際学会発表

The Second International Conference on Influenza Vaccines for the World
(2006.10 Vienna, Austria)

Option for the control of influenza VI (2007.6 Toronto)

Option for the control of influenza VII (2010.9 Hong Kong)

The 15th International Congress on Infectious Diseases (2012.6 Bangkok)

禁煙活動

2001年 第 1 回県民公開講座「禁煙フォーラム石川」開催（以降毎年開催継続中）

日本臨床内科医会医師禁煙宣言、禁煙外来指定医の育成

2006年 「日本禁煙科学会」設立参加（発起人、評議員）

2006年 第 1 回学術総会（京大）シンポジウム発表（ニコチン依存症管理料の課題）

2007年 第 2 回学術総会（奈良女子大）イヴニングセミナー（ニコチネルTTSの使用）

2009年 第 4 回学術総会主催（金沢市・会長岩城紀男）

2009年 特定非営利活動法人「禁煙ねット石川」設立（理事長）

その後の主な活動；

石川県下の病院、診療所敷地内禁煙、タクシー、公民館、スポーツ施設、主要道路、県、市議会 など官公庁の敷地内禁煙を推進。県下飲食店の受動喫煙対策実態調査と優良店の禁煙ねット石川 ホームページ公開、医師による児童・生徒の喫煙防止教育—中学、高校での喫煙対策、金沢市内児 童禁煙ポスターコンクールの開催、展示（継続中）、金沢市校下別成人式時の禁煙アンケート調査 と医師による喫煙防止教育の成人時効果判定（継続中）

【日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞（畑中孝之賞）】

日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞について

日本禁煙科学会は、2006年の発足当初から子どもたちをタバコの害から守るための教育の普及につとめてきましたが、2021年より日本の禁煙の一層の推進と今後の活動における協働に資することを目的として、禁煙教育の禁煙教育の領域において多大な功績をあげた個人または団体を顕彰ことと致しました。なお、本賞は副称を「畑中孝之賞」とします。

日本禁煙科学会HP「畑中孝之氏について」 ---下記URLよりご覧下さい。

https://www.jascs.jp/topix/topix_202109/mr_hatanaka.html

◇第17回日本禁煙科学会学術総会 in 札幌 禁煙教育推進賞受賞団体

授賞団体：NPO法人禁煙ねット石川

代 表：遠藤 将光（NPO法人禁煙ねット石川 理事長）

受賞理由：

2009年の認証以来、受動喫煙防止と子ども達をタバコの害から守る活動を続け、学校に出向いての喫煙防止教育や児童による喫煙防止ポスター展など幅広い活動をおこなってきた。また、全国禁煙アドバイザー育成講習会や、宿泊業や飲食施設を対象にした受動喫煙対策の調査啓発を通じての社会教育にも貢献してきた。成人式で喫煙アンケート調査を実施し、小学校での喫煙防止教育が8年後の20才になった時点での喫煙率を低下させるのに有効であることを検証したことは、日本の禁煙教育の礎となる大きな成果である。

受賞に当たってのメッセージ：

NPO法人禁煙ねット石川 理事長 遠藤 将光

この度は、栄えある日本禁煙科学会禁煙教育推進賞を当NPO法人禁煙ねット石川に賜り、誠にありがとうございます。前学会で和歌山県から同賞受賞のご発表をお聞きし、畑中様のご功績や県全体の取り組みに驚くと共にある種の感動さえ覚えました。今回我々がこの賞をいただいたのは、ひとえに当法人の皆様のこれまでのご尽力と、高橋裕子理事長はじめ日本禁煙科学会の方々のご支援の賜物と存じております。

禁煙ねット石川は2009年5月に認証を受けたNPO法人で、会員は医師、薬剤師、看護師、保健師、大学関係者、県・市議等で、2022年4月現在54名、歴代市長には顧問に就任していただいております。法人の目的はタバコの害の知識普及や受動喫煙の防止、禁煙推進の普及、啓発ですが、とりわけ次世代を担う子ども達をタバコの害から守る事に力点を置き、初代理事長、岩城紀男先生を中心に有志の医師や薬剤師等が2000年頃から学校に出向き喫煙防止教育を行ってきました。また、2009年10月から隔年で「児童による喫煙防止ポスター展」を開催、子供達に教育後タバコのポスターを描いてもらい、年度末に全作品（250枚前後）を展示し優秀者を表彰、優秀作品は市役所やデパートに展示して来ました。さらに、この教育が8年後の20才になった時点で喫煙率を低下させるのに有効かを検証するため、2010年から成人式でアンケート調査を行って来ました。その結果2014年度からの3年間、統計学的な有意差を持って有効と判明したので英文誌に投稿しました¹⁾。今回はこれらの禁煙教育に関する一連の活動をご評価いただいたものと思っています。

また、我々は前述したこどもの禁煙教育に関すること以外にも多くの活動・事業を行っております。

日本禁煙科学会学術総会には、京都での第一回から岩城紀男先生はじめ当法人の会員が参加し、2009年には金沢で第4回学術総会を岩城会長の下に開催しました。全国から600名近い方々にご参加いただき、日本で初めて受動喫煙

防止条例を制定した神奈川県知事の松沢成文氏に基調講演をお願いしました。その後も学術集会には毎年積極的に参加し、何度か優秀演題賞をいただいております。昨年は「成人式における小学校での喫煙防止教育の有効性の検討—英文誌掲載と新型タバコへの対策の必要性—」という演題名で、新型タバコが禁煙教育に与える影響について発表し受賞しました。

全国禁煙アドバイザー育成講習会を、日本禁煙学会と共催で2011年から開催してきました。講師は、禁煙学会理事長で、禁煙ねット石川理事でいらっしゃる高橋裕子先生に加え、学会ご推薦の著名な先生方をお招きするとともに、地元石川で禁煙支援に積極的に取り組んでいらっしゃる方々をお願いしてきました。コロナ禍の2020・21年は開催を見合わせましたが、3年ぶりとなる今年11月13日には金沢市の「石川県政記念しいのき迎賓館」で開催予定です。これまでに北陸はもちろん全国各地から禁煙支援に携わる皆様にお集まりいただき、今まで381名をお迎えできたことは、私達にとって大変喜ばしく、日本の禁煙支援者育成に微力ながら貢献させて頂けたのではないかと自負しております。

毎年5月末、世界禁煙デーに併せて石川県臨床内科医会の主催で開催されている「禁煙フォーラム石川」には、2006年以降講演や資料展示等で共催しています。最近はコロナでWeb開催が続いていますが、昨年は高橋先生にご講演いただきました。

2010年には石川県に「禁煙店舗拡大に関わる事業」を提案し2年間調査を行いました。県内のホテル、旅館、公共宿泊施設、民宿などの宿泊業約450件と飲食施設約3,500件を対象に、受動喫煙への対策の有無を調査しました。宿泊施設で受動喫煙対策を講じていたのは1割弱、飲食店では16%程でした。この結果をリーフレットにして各店に提供し、対策優良店を禁煙ねット石川のHPに掲載して紹介しました。

2016年には金沢市を対象に、「禁煙店舗認証」に係わる調査及び普及啓発事業として前回と同様の調査を行いました。

2018年に改正健康増進法が成立しましたが、法案審議中にこれを政治的に無力化しようとする動きが全国で活発になりました。このような活動に対し、県医師会と共に県選出の国会議員6名全員と個別に面談し、断固反対で有効な法案として成立するよう書面で要望を申し入れました。

2019年7月に金沢市が管轄する28ヶ所、年間利用者約200万人の全てのスポーツ施設を敷地内禁煙としました。禁煙化の準備には当法人が支援し、関連職員全員に施設禁煙化の重要性を講演、以来職員は禁煙者に限りとなりました。講演会場には米大リーグで活躍した松井秀喜氏や元スポーツ長官鈴木大地氏等から頂いた禁煙のサインや児童の禁煙ポスター等を展示しました。これについては、副理事長の福田が大阪での学術総会で発表しました。

同年10月には「NPO創立10周年」として石川県医師会、石川県薬剤師会、石川県看護協会の後援をいただき県民公開講座を開催、当法人理事3名に加えて石川県健康福祉部健康推進課長相川広一氏に「石川県におけるタバコ対策について」と題してご講演いただきました。講演後遠路ご参加いただいた高橋先生に、シンポジウム「2020に向けて私達にできること」の座長の労をおとりいただき議論を深めた。併せて「10年のあゆみ」の題で当法人の略歴をリーフレットにまとめ、関係各位に配布しました。

以上、我々の紹介をさせて頂きましたが、詳細は「禁煙ねット石川」で検索するか、

HP; kinenisikawa.html.xdomain.jp/index.html

をご参照下さい。

参考文献

- 1) M Endo et al. Effects of School-based Smoking Prevention Education by Physician After Eight Years: A School Randomized Controlled Trial. J of Health and Environmental Research 2020; 6(4): 119-127. doi: 10.11648/j.jher.20200604.13

禁煙科学 最近のエビデンス 2022/10

さいたま市立病院館野博喜
Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われたものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、

目次

KKE317 「疼痛患者の禁煙に関する合意声明：日本ペインクリニック学会」

KKE317

「疼痛患者の禁煙に関する合意声明：日本ペインクリニック学会」

Hiroki Iida等、J Anesth. 2022 Sep 7. PMID: 36069935

https://www.jspc.gr.jp/Contents/public/pdf/Consensus_Statement_on_smoking_cessation_in_patients_with_pain-JA.pdf

→喫煙は様々な疾患のリスクとなるが、急性および慢性疼痛との関連についてのデータは乏しい。

→今回、喫煙の疼痛への影響に関するエビデンスをまとめ、集学的な疼痛管理における禁煙の役割について記述した。

→2000年1月から2020年6月発行の文献を系統的に検索した。

→喫煙や禁煙、鎮痛、疼痛などの検索語を用いて、英語と日本語の文献を調べた。

→エビデンスレベルは、A：高い、B：中等度、C：低い、D：とても低い、に分類し、推奨は、1：強い推奨、2：弱い推奨、に分類した。

→多くの研究がコホートであり、RCTや系統的レビューが少ないことから、これらの分類が付与できないものもあった。

→推奨の決定には、ワーキンググループメンバーの80%以上の合意が得られるまで討議した。

→また原案に対するパブリックコメントを募集し審議した。

→喫煙の疼痛への影響（病理）

1) 喫煙は痛み感覚に影響を与えるか？

→喫煙とニコチン投与は急性の鎮痛効果を示す。

→痛み閾値と耐性は、喫煙者と非喫煙者で異なる。

→ニコチン離脱症状は喫煙者の痛みを増す。

2) 喫煙は痛みと関連するか？

→喫煙者は非喫煙者より、慢性疼痛の頻度が高く、疼痛も強い。

→喫煙は侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、心理社会的疼痛を増悪させる。

→喫煙者では急性疼痛が慢性化しやすい。

→喫煙者は痛みに関連する病態（気分障害、うつ病、睡眠障害など）やADL、社会活動の悪化を経験する傾向がある。

→喫煙は骨粗鬆症、椎間板変性、骨折、腰痛などのリスクを増やす。

3) 受動喫煙は痛みと関連するか？

- 受動喫煙は術後疼痛の強さを増す。
- 受動喫煙は慢性疼痛の頻度を増す。
- 受動喫煙は椎間板変性と腰痛を悪化させる。
- 妊婦の受動喫煙は子の痛覚過敏発症と関連する。

4) 新型タバコは患者の痛みに影響するか？

- 加熱式タバコはニコチンを含んでおり、疼痛感受性を高めるため、紙巻タバコと同様に考えるべきである。

5) 喫煙は術後疼痛に影響するか？

- 推奨（1C）：喫煙は急性術後疼痛管理不良の重要なリスク因子であり、禁煙を強く推奨する。
- ニコチン投与は急性術後疼痛に対しわずかな改善効果しかない。
- 喫煙者は非喫煙者より、術後の急性疼痛スコアが高く、オピオイド鎮痛薬を多く必要とする。この傾向はニコチン依存度が高いほど顕著である。
- 手術の3週間以上前から禁煙すると、手術直前に禁煙するよりも、術後急性疼痛スコアが低い。
- 喫煙者は非喫煙者より慢性術後痛や、オピオイドなどの鎮痛薬の長期使用リスクが高い。

6) 喫煙は癌に関連する痛みに影響するか？

- 癌関連痛は、癌診断後も喫煙していると増加する。
- 喫煙する癌患者は非喫煙患者より術後のオピオイド鎮痛薬の必要性が高く、痛みが慢性化しやすい。
- 喫煙は化学療法による末梢神経障害の頻度を高める。
- 喫煙は癌放射線療法による有痛性副作用の発生率を増す。
- 進行癌患者において喫煙者は非喫煙者より、疼痛強度スコアが高く、より多くのオピオイド鎮痛薬を要する。

→喫煙の疼痛（疼痛治療）への影響

1) 喫煙患者の痛みは効果的に管理可能か？

- 喫煙者は非喫煙者より、服薬遵守が劣り過量投与になりやすい。
- 喫煙者は非喫煙者より、疼痛治療成績が劣る。
- 喫煙者は集学的疼痛管理の成績が劣り、仕事への復帰率が低い。
- 短期間の禁煙でも痛みが悪化するため、喫煙は効果的な疼痛管理を阻害する。

2) オピオイド関連の問題には喫煙が関係しているか？

- ・オピオイド鎮痛薬の使用率は喫煙者のほうが非喫煙者より高い。
- ・オピオイド鎮痛薬の消費量は喫煙者のほうが非喫煙者より多い。
- ・オピオイド使用障害患者には喫煙者が多い。
- ・若年喫煙者はオピオイド鎮痛薬使用率が高く、オピオイド使用障害のリスクが高い。
- ・禁煙後の離脱症状リスクはオピオイド鎮痛薬で減らせない。

→禁煙が痛みの感覚にあたる影響（治療的介入の重要性）

1) 禁煙は痛みの改善に役立つか？

- 推奨（1C）：慢性疼痛の改善のため禁煙介入を強く推奨する。
- ・禁煙は、根本的な原因の悪化を防ぐことにより痛みの改善に役立つ。
- ・禁煙によるニコチン離脱症状は、一時的に疼痛感受性を高める可能性がある。
- ・ある種の疾患の患者には禁煙は疼痛を低減し疼痛治療への反応性を改善するが、慢性疼痛患者に

広く禁煙が短期的な疼痛緩和効果を示すかは明らかでない。

2) 疼痛患者に禁煙は可能か？

→疼痛患者はニコチン依存が高く精神的合併症のために禁煙介入に難渋することが多い。

→疼痛患者には、疼痛緩和ケアや喫煙が痛みを減らさないことを強調する教育、不安への対処の支援を含めた集中的な介入プログラムが必要。

3) 禁煙支援は疼痛患者に有効か？

→推奨（1B）：疼痛患者の禁煙とその継続に禁煙支援を強く推奨する。

→慢性疼痛のある喫煙者では、ニコチン離脱症状により痛みが増して禁煙しづらくなるため、禁煙支援の利用が勧められる。

4) 認知行動療法（患者教育）は疼痛のある喫煙者を支援するか？

→認知行動療法を含む集学的疼痛管理プログラムは禁煙治療に応用しうる。

→禁煙を含む行動療法は、理学療法との組み合わせで、慢性疼痛患者への介入の第一選択になりうる。

5) 運動療法（身体的運動と活動プログラム）は疼痛のある喫煙者に役立つか？

→運動誘発性鎮痛（EIH）は、ニコチンによる急性鎮痛作用と同様に脳内報酬回路を介するが、EIHに依存性はなく、長期効果が期待できる。

→喫煙が疼痛のリハビリ効果を阻害する一方で、禁煙と運動はともに疾患活動性や身体機能、QOLを改善する。

→運動不足、喫煙、その他の不健康な生活習慣は慢性疼痛リスクを増やす。

→禁煙や運動、他の行動変容を促すライフスタイル管理プログラムは、単独または従来の理学療法と組み合わせて行われ、慢性疼痛患者への介入の第一選択になりうる。

<選者コメント>

日本ペインクリニック学会から、様々な種類の痛みについて、包括的に喫煙と禁煙の影響がまとめられ声明として発表されました。

整形外科領域の疼痛、リウマチ性疼痛、歯痛、急性疼痛、慢性疼痛、術後疼痛、癌性疼痛などなど、多くの痛みがニコチン依存と影響し合い、喫煙により悪影響を受けて薬も効きにくくなることが述べられています。痛みは患者さんの主訴の最たるものですので、禁煙支援の際にも役立つ場面が多くあるものと思います。

まとめでは概要しか知られませんが、個々の疼痛に関するエビデンスについては、原著をご参照いただくことで、患者さんに禁煙を勧める際の参考になるとと思いますので、ぜひご覧ください。

なお、KKE316dでお示した「日本麻酔科学会の術前禁煙ガイドライン 2022年版」に、日本語版のリンクを貼り忘れておりましたので、下記に添付させていただきます。

https://anesth.or.jp/files/pdf/kinen-practical-guide_20210928.pdf

<その他の最近の報告>

KKE317a「日本人妊婦の加熱式タバコ使用は用量依存的に子のアレルギー発症を増やす：5千7百人のネット横断調査」

Masayoshi Zaitzu等、Allergy. 2022 Sep 29. PMID: 36176042

KKE317b「日本の喫煙妊婦では紙巻きより加熱式タバコ喫煙者で小さい子が生まれる割合が高い：5千7百人のネット横断調査」

Yoshihiko Hosokawa等、Int J Environ Res Public Health. 2022 Sep 19;19(18):11826. PMID: 36142098

- KKE317c 「受動喫煙濃度として測定したPM2.5値は大麻喫煙のほうがタバコ喫煙より4倍高い：室内実験」
Wayne R Ott等、Sci Total Environ. 2022 Aug 26;852:158244. PMID: 36037897
- KKE317d 「受動喫煙のある中年女性は顔表面の脂質構成が異なっている：中国40人の横断研究」
Mengzhen Zhao等、Chem Phys Lipids. 2022 Sep;247:105228. PMID: 35940249
- KKE317e 「2020年5月EUのメンソール禁止後に禁煙する者の割合が増えた」
Christina N Kyriakos等、Tob Control. 2022 Sep 26. PMID: 36163172
- KKE317f 「中低所得82か国の喫煙状況と社会経済的因子の関連」
Michaela Theilmann等、BMJ. 2022 Aug 30;378:e067582. PMID: 36041745
- KKE317g 「タイのタバコ農家の6割はQOLが低くタバコ栽培をやめたがっている」
Chakkraphan Phetphum等、JCO Glob Oncol. 2022 Aug;8:e2200180. PMID: 36049151
- KKE317h 「COPD患者の禁煙には認知行動療法+ブプロピオンが最も効果的：ネットワークメタ解析」
Xuefeng Wei等、Int J Nurs Stud. 2022 Sep 14;136:104362. PMID: 36206617
- KKE317i 「COPDスクリーニングと合わせたネット禁煙治療は有効：小規模RCT」
Jennifer Dahne等、J Med Internet Res. 2022 Aug 30;24(8):e38663. PMID: 36040766
- KKE317j 「COPD患者への禁煙介入の過去5年間の進捗：レビュー」
Lin Feng等、Expert Rev Respir Med. 2022 Jul;16(7):749-764. PMID: 35916493
- KKE317k 「禁煙準備のできていない喫煙者へのバレニクリン投与は禁煙率を2倍高める：メタ解析」
Luciane Cruz Lopes等、Ann Am Thorac Soc. 2022 Sep 21. PMID: 36129426
- KKE317l 「強迫性障害患者の喫煙率は世界で約3割：メタ解析」
Mehdi Akbari等、Health Psychol Rev. 2022 Oct 6;1-15. PMID: 36173036
- KKE317m 「睡眠時無呼吸と喫煙・禁煙に関するレビュー」
Athanasia Pataka等、J Clin Med. 2022 Aug 31;11(17):5164. PMID: 36079094
- KKE317n 「古典的幻覚剤のもつ依存症治療効果のレビュー」
Matthew W Johnson、Curr Top Behav Neurosci. 2022;56:213-227. PMID: 35704271
- KKE317o 「ニコチンの強化効果の元になるタバコ煙のMAO抑制効果は超低ニコチンタバコでも生じうる：レビュー」
Alan F Sved等、Front Neurosci. 2022 Aug 16;16:886496. PMID: 36051642
- KKE317p 「アプローチバイアス再学習法は禁煙介入に有効：探索的RCT」
Jasper A J Smits等、Drug Alcohol Depend. 2022 Sep 1;238:109579. PMID: 35917763
- KKE317q 「チャットボットの禁煙効果に関するレビュー」
Robyn Whittaker等、J Med Internet Res. 2022 Sep 26;24(9):e35556. PMID: 36095295
- KKE317r 「妊婦の禁煙時期と子の肥満の関連についてのメタ解析」
Jacob Perkins等、Nicotine Tob Res. 2022 Sep 15. PMID: 36106723
- KKE317s 「能動・受動喫煙は乳癌リスクを高める：メタ解析」
Yujing He等、Front Oncol. 2022 Sep 15;12:961970. PMID: 36185316
- KKE317t 「禁煙が歯周病やインプラント周囲炎におよぼす影響に関する系統的レビュー」
Mario Caggiano等、Dent J (Basel). 2022 Aug 31;10(9):162. PMID: 36135157
- KKE317u 「新型タバコが細胞の酸化ストレスにおよぼす影響についてのレビュー」
Rosalia Emma等、Antioxidants (Basel). 2022 Sep 16;11(9):1829. PMID: 36139904

KKE317v「喫煙による細菌叢の多様性減少と健康影響に関するレビュー」

Hagit Shapiro等、Clin Sci (Lond). 2022 Sep 30;136(18):1371-1387. PMID: 36156126

KKE317w「禁煙鍼治療の効果はメタ解析の方法により結果が異なる：50万回のメタ解析試行実験」

Manele El Bahri等、J Clin Epidemiol. 2022 Sep 20. PMID: 36150547

KKE317x「現在より過去の喫煙者でCovid-19重症化が多くNRT使用者は死亡率が低い：米国10万人の入院データ解析」

Thomas M Piasecki等、Nicotine Tob Res. 2022 Sep 7. PMID: 36069915

KKE317y「コロナワクチン抗体価減少の一因は喫煙：スペインの医療者450人11か月の追跡」

Carlota Dobaño等、Immunology. 2022 Jul 31. PMID: 36065677

KKE317z「喫煙者ではコロナワクチン3回接種後の中和抗体が低い：ギリシャの医療者740人の追跡」

Loukia Psaridi等、Vaccine. 2022 Sep 22;40(40):5752-5756. PMID: 36008235

KKE317aa「日本人のコロナワクチン2回接種後の抗体価低値の一因は喫煙：3千7百人の横断調査」

Aya Sugiyama等、Sci Rep. 2022 Sep 29;12(1):16294. PMID: 36175506

KKE317ab「イタリアの加熱式タバコ使用者はコロナ禍での紙巻き移行や再喫煙が多かった」

Silvano Gallus等、Tob Control. 2022 Oct 7. PMID: 36207129

KKE317ac「唾液中ACE2濃度とニコチン濃度の相関は限定的」

Samuel Bru等、Environ Res. 2022 Oct 1;114443. PMID: 36195157

KKE317ad「加熱式タバコ煙抽出物は紙巻きと同様に新型コロナウイルスによる肺障害反応を惹起する：台湾の細胞実験」

Han-Hsing Tsou等、Toxicology. 2022 Sep;479:153318. PMID: 36096319

KKE317ae「5割以上の専門医が急性期脳動脈瘤クモ膜下出血喫煙患者にNRTを使用している：欧州学会員へのネット調査」

Christian V Eisenring等、Adv Ther. 2022 Nov;39(11):5244-5258. PMID: 36121611

KKE317af「喫煙開始の遺伝的素因と脳卒中後の機能的転帰の悪化に関連が見られる：メンデルランダム化解析」

Zhizhong Zhang等、Neurology. 2022 Sep 21;10. PMID: 36130842

KKE317ag「元喫煙者は健康的な生活の遵守率が高いと死亡率が低い：米国16万人19年コホート」

Maki Inoue-Choi等、JAMA Netw Open. 2022 Sep 1;5(9):e2232778. PMID: 36136331

KKE317ah「日中米英の過去30年間の喫煙関連死亡の動向」

Haoyu Wen等、Int J Public Health. 2022 Sep 15;67:1605147. PMID: 36188749

KKE317ai「ここ20年の世界の禁煙研究の動向：寄与の大きかった雑誌・大学・著者やテーマなど」

Yingxin Xu等、Prev Med Rep. 2022 Sep 19;30:101991. PMID: 36193091

KKE317aj「過去でなく現喫煙が統合失調症の認知機能低下と関連する」

Jasmina Mallet等、Psychol Med. 2022 Sep 8;1-12. PMID: 36073848

KKE317ak「喫煙者は脳脊髄液中の金属イオン濃度が高くアルミニウム濃度は抑うつと関連する」

Yuying Li等、CNS Neurosci Ther. 2022 Sep 28. PMID: 36168907

KKE317al「中年女性の喫煙状況の変化と癌リスクの関連：韓国3百万人9年間の追跡研究」

Thi Xuan Mai Tran等、Am J Prev Med. 2022 Aug 29. PMID: 36050198

KKE317am「デンマークの30-50歳のCOPD患者は18%（一般人口の6倍）が禁煙補助薬を使用している」

Dea Kejlberg Andelius等、NPJ Prim Care Respir Med. 2022 Oct 8;32(1):39. PMID: 36209208

KKE317an「日本の50代では配偶者が禁煙すると自身も禁煙する人が多い：中高年者縦断調査の解析」

Tomohiko Ukai等、Prev Med. 2022 Oct 5;107:293. PMID: 36208818

KKE317ao「喫煙者では背外側前頭前野ドーパミンD2受容体の低下が言語学習・記憶力低下と関連する」

Yasmin Zakariaeiz等、Nicotine Tob Res. 2022 Sep 15. PMID: 36107715

KKE317ap「喫煙妊婦の子は第2指：第4指比が高く胎児期のエストロゲン曝露の高さが示唆される：ポーランド」

Aneta Sitek等、Biology (Basel). 2022 Aug 30;11(9):1286. PMID: 36138765

KKE317aq「あらゆる種類の無煙タバコ使用や受動喫煙は頭頸部癌のリスクを高める：インドの症例対照研究」

Devyani Gholap等、Int J Cancer. 2022 Aug 27. PMID: 36054453

KKE317ar「環境タバコ煙曝露のある3-17歳では神経発達と行動上の問題スコアが高い」

Yu Gao等、Front Public Health. 2022 Aug 10;10:881299. PMID: 36033778

KKE317as「スマートウォッチ+指センサーのシステムは事前に喫煙行動を感知できる」

Gabriel Maguire等、IEEE Internet Things J. 2022 Mar;9(5):3204-3214. PMID: 36059439

KKE317at「ホテルでの三次喫煙の苦情は喫煙室のあるホテルで35%多い：米国」

Elizabeth Ad Weigel等、Tob Use Insights. 2022 Sep 5. PMID: 36090650

KKE317au「三次喫煙曝露した衣類を3時間着けると生体マーカーが悪化する」

Shane Sakamaki-Ching等、EBioMedicine. 2022 Sep 19;84:104256. PMID: 36137411

KKE317av「三次喫煙の臭気測定法の開発：日本」

Mitsuo Hinoue等、J UOEH. 2022;44(3):269-275. PMID: 36089345

KKE317aw「日本がMPowerを完全に遂行すると喫煙率12%の目標は2033年に到達すると試算される」

Su Lan Yang等、Tob Control. 2022 Sep 13. PMID: 36100264

KKE317ax「シチシニコリン（シチシン）の第1相容量漸増忍容性試験」

Cindy Jacobs等、Nicotine Tob Res. 2022 Oct 5. PMID: 36198104

KKE317ay「逆向き喫煙（火のついたほうを咥える）による口蓋角化症の一例」

John Won等、N Z Med J. 2022 Sep 23;135(1562):104-107. PMID: 36137771

KKE317az「IQOSは喫煙欲求は減らすが離脱症状は減らさず喫煙量が増える可能性がある：IQOSへの移行実験」

Matthew D Stone等、Drug Alcohol Depend. 2022 Sep 1;238:109569. PMID: 35841732

KKE317ba「加熱式タバコのビデオを見せると現喫煙者の喫煙欲求が強まる」

Emma I Brett等、Nicotine Tob Res. 2022 Oct 7. PMID: 36205373

KKE317bb「2020年の米国若年成人のIQOSの認識は『電子タバコと紙巻の合いの子みたいなもの』」

ongshuan Duan等、Health Educ Res. 2022 Sep 23;37(5):364-377. PMID: 36036655

KKE317bc「英国のIQOS使用者は「喫煙者」と呼ばれることを快く思わない：30人へのインタビュー調査」

Katherine East等、Addiction. 2022 Sep 23. PMID: 36148622

KKE317bd「電子タバコを使用している喫煙者は禁煙について前熟考期や熟考期が多い：韓国」

Wonjeong Yoon等、PLoS One. 2022 Sep 9;17(9):e0274311. PMID: 36084052

KKE317be「香港では加熱式タバコの違法な販売にFacebookが利用されている」

Yongda Socrates Wu等、Health Soc Care Community. 2022 Sep 5. PMID: 36062525

KKE317bf「気液界面培養法を用いた気管支・肺胞細胞への加熱式タバコ煙曝露実験」

Mizanur Rahman等、Sci Rep. 2022 Sep 30;12(1):16396. PMID: 36180488

KKE317bg「口腔内細胞への紙巻き・電子・加熱式タバコ煙の影響比較実験」

Lorella Marinucci等、Arch Oral Biol. 2022 Sep 20;144:105550. PMID: 36191446

KKE317bh「JUULエアロゾルの曝露によりヒト気管支上皮細胞への新型コロナウイルス感染が促進される（細胞実験）：未査読」

Rattapol Phandthong等、bioRxiv. 2022 Aug 24;2022.08.23.505031. PMID: 36052374

KKE317bi「gloに1年間替えると毒性曝露マーカーが減る：BAT社」

Nathan Gale等、Intern Emerg Med. 2022 Oct;17(7):2017-2030. PMID: 36036342

KKE317bj「gloの依存性は紙巻タバコとニコチンインヘラーの中間：BAT社のRCT」

George Hardie等、Sci Rep. 2022 Aug 29;12(1):14701. PMID: 36038580

【週刊タバコの正体】

Vol.53 第6話～第9話

2022年10月

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 53

(No. 720) 第6話 国際条約

ー国際社会は条約でタバコの規制に取り組んでいる...

喫煙が原因で亡くなる人はかなり多い事を知っていますか。左図のニュースでは、2019年に世界中で769万人そのうち日本は6番目に多い20万人が亡くなったと伝えています。

こんなに多くの命を奪うタバコが世界中で広く販売されているのも良いのか、と感じませんか。じつは、世界の人々の保健衛生を管轄する世界保健機関(WHO)は、この状態を解決するための法律を制定しています。タバコ規制枠組条約(Framework Convention on Tobacco Control)通称FCTCと呼ばれて、下図のようなタバコ規制が定められています。

(No. 721) 第7話 相反する法律

ー健康増進法とたばこ事業法...

世界は今、世界保健機関(WHO)が制定したタバコ規制枠組条約(Framework Convention on Tobacco Control)通称FCTCのもと、タバコの被害をなくす対策に取り組んでいます。日本においても「健康増進法」という法律のなかでタバコの健康被害を少なくする事を定めています。

しかし、一方でタバコの健康被害には触れず、財政収入の安定的確保を目的とした「たばこ事業法」という法律が存在し、関連して政府が日本たばこ産業(JT)の株式の半分以上を保有することを定めた「日本たばこ産業株式会社法」という法律もあるのです。

(No. 722) 第8話 タバコ休憩

ー勤務中に離席してタバコを吸いにいく...

ニコチン依存症の喫煙者は、毎日何回もタバコを吸う時間が必要です。そんな人たちは仕事中でもニコチン切れによるストレスを我慢できず、作業場を離れ喫煙場所に「タバコ休憩」を取りに行くことになります。仮に1回10分のタバコ休憩を5回とる人がいて、その人の時給が2000円だとすると左下図のように毎日16500円分の賃金が消えている計算になります。

時給2000円の人が1日8時間働いた場合の日給は16000円なので、その1割がタバコ休憩代になっているわけです。もし、この事業所にそんな喫煙者が10人いたとしたら、全体で毎日165000円がタバコ休憩に費やされている計算になり、これは一人分の賃金に相当します。

(No. 723) 第9話 健康経営

ー従業員の健康管理に重点をおく企業経営が主流に...

皆さん、「健康経営」という言葉を知っているでしょうか。従業員が心身ともに健康で業務に従事できてこそ業績が向上するとの考え方から、従業員の健康を重視した経営方法です。具体的には、定期健康診断の受診を徹底し、生活習慣病や過重労働、メンタルヘルスなどの対策にきちんと取り組むことが「健康経営」なのです。

じつは、そんな経営をしている企業に対し経済産業省が「健康経営優良法人」として認定する制度があります。2017年に認定制度がスタートして以来、その数が25倍にも増加するほど、従業員の健康が重要だとする...

Volume 53 Serial number 720 第6話
2022 Aug-Dec 週刊 タバコの正体

喫煙による死亡者(2019年)
世界 769万人
日本 20万人(6番目)

喫煙が原因で亡くなる人はかなり多い事を知っていますか。左図のニュースでは、2019年に世界中で769万人そのうち日本は6番目に多い20万人が亡くなったと伝えています。

こんなに多くの命を奪うタバコが世界中で広く販売されているのも良いのか、と感じませんか。じつは、世界の人々の保健衛生を管轄する世界保健機関(WHO)は、この状態を解決するための法律を制定しています。タバコ規制枠組条約(Framework Convention on Tobacco Control)通称FCTCと呼ばれて、下図のようなタバコ規制が定められています。

この国際条約を守る約束(批准)した国々は、「タバコ税を上げて使用を減らす」、「受動喫煙をなくす」、「タバコの危険性をしっかり警告する」、「タバコの販売促進活動を禁止する」などの対策をとらなければなりません。現在、世界のほとんどの国が批准しているので、世界中でタバコ規制が進んでいます。前回紹介した世界各国のタバコの値段が高いのはその証拠です。

日本も2004年に批准していますが、タバコの値段は各国に比べて安く、国民に危険性をしっかりと警告しているとは言えないなど、あまり積極的ではないので、多くの国民は国際社会でタバコ規制が進んでいる事を知りません。

世界は国際条約のもと将来の世代をタバコの被害から保護するため動いています。

皆さん、将来の世代の一人として、この事を認識しておいて下さい。

産業デザイン科 奥田恭久
Zero Tobacco
In WAKO Since 2005

Volume 53 Serial number 723 第9話
2022 Aug-Dec 週刊 タバコの正体

皆さん、「健康経営」という言葉を知っているでしょうか。従業員が心身ともに健康で業務に従事できてこそ業績が向上するとの考え方から、従業員の健康を重視した経営方法です。具体的には、定期健康診断の受診を徹底し、生活習慣病や過重労働、メンタルヘルスなどの対策にきちんと取り組むことが「健康経営」なのです。

じつは、そんな経営をしている企業に対し経済産業省が「健康経営優良法人」として認定する制度があります。2017年に認定制度がスタートして以来、その数が25倍にも増加するほど、従業員の健康が重要だとする認識が一般的になってきています。

そこで、下表の認定基準を見て下さい。たくさんある認定要件のうち「受動喫煙対策」は必須条件となっています。つまり、健康経営にはタバコの健康被害をなくす対策が必須なのです。喫煙対策を講じる事は経営の常識となっています。

産業デザイン科 奥田恭久

制度開始からの5年間で約25倍の増加!

健康経営優良法人2020(中小規模法人部門)認定基準

大項目	中項目	小項目	評価項目	認定要件
1.経営理念(経営者の意図)	健康経営の内外への発信と経営者自身の意識	健康づくり推進の意図	健康経営の内外への発信と経営者自身の意識	必須
2.組織体制	健康づくり推進体制	健康づくり推進体制の整備	健康づくり推進体制の整備	必須
3.経営実践	健康経営の実践	健康経営の実践	健康経営の実践	必須
4.評価・改善	健康経営の評価・改善	健康経営の評価・改善	健康経営の評価・改善	必須

Zero Tobacco
In WAKO Since 2005

毎週火曜日発行

URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

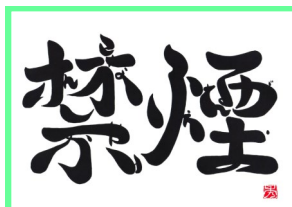
※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



日本禁煙科学会HP

URL: <https://www.jascs.jp/>

※日本禁煙科学会ホームページのアドレスです。
※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。



ふえる笑顔 禁煙ロゴ

筋肉の疾患で体の不自由な浦上秀樹さん（埼玉県在住）が、口に筆を取って書いてくださった書画です。「けんこうなしゃかい ふえるえがお」という文字を使って『禁煙』をかたどっています。

※拡大画像は日本禁煙科学会ホームページでご覧頂けます。
※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。

URL : https://www.jascs.jp/gif/egao_logo_l.jpg



編集委員会

編集委員長 中山健夫
編集委員 野田隆 東山明子 高橋裕子

日本禁煙科学会

学会誌 禁煙科学 第16巻(10)
2022年(令和4年)10月発行
URL : <https://www.jascs.jp/>
事務局：〒630-8113 奈良県奈良市法蓮町 948-4
めぐみクリニック（未成年者禁煙支援センター）内
E-mail : info@jascs.jp